

Techno Report

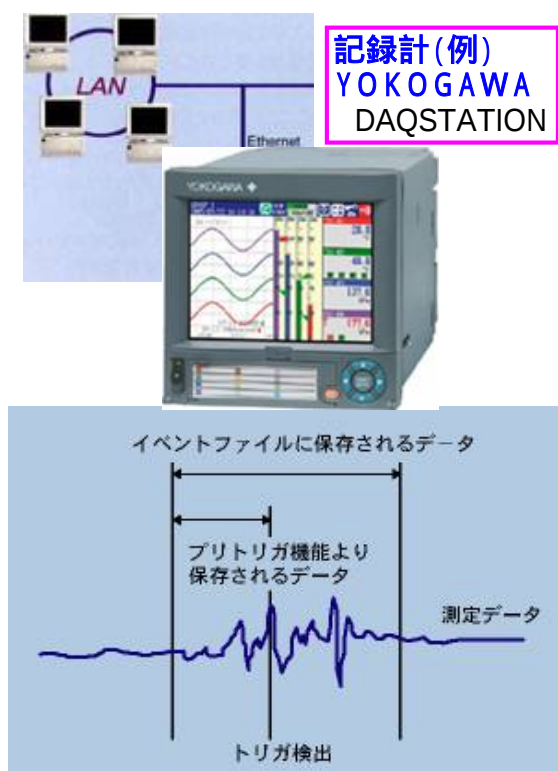
～ テクノレポート ～

No. 74

設備機器の状態監視やデータ収集用記録計は、半導体技術の進歩に伴うメモリ容量の増大により、デジタルレコーダの機能が向上しています。従来から普及しているペンレコーダに比べて、インク切れ等によるデータの消失がなく、データの保存や検索、解析が容易であることなどから、重要機器への取付が増加しています。また、温室効果ガス排出量の低減対策に必要な**省エネを進めるための基礎データの記録**にも有効です。

当社でも **排水の水質や空調温湿度、圧空流量、循環風呂の塩素濃度などの監視記録・警報用**として納入実績があり、必要性はますます増加することと思われます。

運転データの記録・監視用にはデジタル記録計が便利です。



デジタル記録計の特徴(左記例)

データの連続収集

必要なデータ(電流、電圧、温度等)の連続且つリアルタイム収集。

社内LANが組める

Ethernetインターフェースを装備しており、社内LANが組める。サーバ機能もある。

データ自動保存

記録計単体でも、60秒毎のデータ保存では、20MBのフラッシュメモリカードの使用で、**1年以上の記録が可能**(DX106)。

内部メモリバックアップ

内部メモリにはバッテリーバックアップの必要の無い、不揮発性のフラッシュメモリを採用し、停電時などのデータ消滅防止を図っている。

異常データの検出・解析

トリガ検出機能を有し、異常発生時に於けるトリガ前後のデータ解析が可能。(左図)

水道法改正に基づく水質基準検査項目変更が4月1日から施行されます。

「消毒副生成物の塩素酸の検査」が追加されました。

○ 消毒副生成物の検査項目

11項目 12項目 ----- (1項目追加)

○ 検査頻度

1年に1回(6月1日～9月30日) ----- (変更なし)

TECHNO REPORT (テクノレポート)

No. 74

2008年03月10日発行

発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-363-1922

太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉営業所 TEL 049-279-3011

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp> MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp (メール配信ご希望の方はこちらまで)

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させていただきますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。

編集 : 熊倉 都木

問合せ先: C S 部 / 戸塚 都木